

ザ・アッパーハウスのデザイン公開

2009年6月25日



スワイヤー・ホテルズが香港に新たにオープンする、こぢんまりとしたホテル、ザ・アッパーハウスは、香港島アドミラリティー（金鐘）のパシフィックプレイスに、さらなる魅力を加えます。このスモール&ラグジュアリーなホテルの、心安らくアジアが香る、時を超えたデザインが明らかにされました。

英国版ヴォーグに「デザインの神童」と称され、米コンデナスト・トラベラーに「アジアン・デザインのセンセーション」と讃えられたデザイナー、アンドレ・フーがザ・アッパーハウスのデザインを手がけています。

アンドレが手がけたプロジェクトは、シャングリラ東京のイタリア料理レストラン「ピアチェーレ」と日本食「なだ万」、カペラ・シンガポールのチャイニーズレストラン「カッシア」、香港のアニエスb、JIA上海のユニークなロビー、国際的映画スター、ミッシェル・ヨーの自宅など、幅広く、いずれも高い評価を得ています。

天然素材、備え付けの彫刻作品、シームレスでバランスがとれた空間がみごとに調和し、洗練されたモダン・オリエンタル調のレジデンスが誕生しました。「ホテルの雰囲気とデザイン全体を意識的に落ち着いたトーンにまとめ、個人の邸宅を思わせるような小さくこぢんまりとしたホテルを創り出しました。」と、アンドレ・フーはコメントしています。

また、ザ・アッパーハウス、総支配人のディーン・ウインターは次の様に語っています。「私達は香港の喧噪や雑踏を忘れさせることができる、今まで存在しなかった新しい隠れ家を目指していました。そしてついに、アンドレ・フーの才能を借りて、理想的な隠れ家造りが叶いました。」

イタリア産石英石のホテル正面玄関はトーマス・ヘザーウィックが、個人邸宅でゲストを迎えるためにカーテンを開くイメージを見事に表現しています。微妙な照明の車寄せは、4メートル近い大型のドラマチックなニッケルの扉と天井まで覆われたガラスの壁へと導きます。

正面玄関の内側では、円形の竹に囲まれた「ランタン」が、両側のランプが灯す淡い明かりの中、エレベーターで上空に向かうジャーニーの始まりを演出します。自然光があふれ、太陽の下でカクテルを片手にくつろげる緑が広がる「芝生」の6階へご案内します。





さらに上層階に向かい客室フロアーにたどりつくと、そこには豪華ながらも控えめな117の客室がゲストをお迎えます。コンテンポラリーで単色のデザインは、天然木材、障子風ガラス、石灰岩とラッカー仕立ての壁紙のパネルでインテリアを仕上げています。21のスイート、2つのpentハウスを含むすべての客室は、竹と鮮やかなグレーのフローリング、また竹材とライラック色の室内装飾。さらに緑茶のようなセラドンの内装とクリーム色のオーク材など2つの色調でまとめられています。

客室のレイアウトはゆったりとしたスペースを提供し、中でも特筆すべき28㎡に及ぶバスルームは、ウォーイン・レインシャワー、着替えスペース、息を呑むようなパノミックビューを望むバスタブを備えています。ペルラトスベボ産天然石灰石が並ぶフロアー、トルコ産石灰石の壁のバスルームは、シンプルを極めたデザインです。

上空へのジャーニーのハイライトは49階で、建築的観点からも大変興味深いスカイブリッジが登場します。40メートルのダイナミックなアトリウムの上に位置する天窗からの注がれる天然光に包まれ、スカイブリッジからシグニチャー・レストラン「カフェ・グレイ・デラックス」に導きます。中央に暖炉を配置した暖かい雰囲気のレストランでは、終日様々な飲み物やカクテルをお楽しみいただけます。緑茶とミネラルブルーのソフトな色調の4メートルもの高い天井のソファエリアでは、ゆっくりと心ゆくまでおくつろぎいただけます。



カフェ・グレイ・デラックスは、セレブシェフ、グレイ・クンツを再び香港に迎えた21世紀のグランドカフェで、目映いヴィクトリアハーバーを望みます。活気あふれるこのレストランには、14メートルものオープンキッチンとロングバーがあり、リラックスした雰囲気の中でローカルのオーガニック素材をふんだんに使った、気取のない料理をお楽しみいただけます。

カフェ・グレイ・デラックスのメインダイニングエリアは100名を収容し、すべての席から素晴らしいパノラマビューをお楽しみいただけます。セミプライベート・エリアからは、オープンキッチンを目の前にし、12名まで収容可能なプライベートルームでは、特別なハーバービュー・ダイニングをご体験いただけます。また88席のバーとラウンジは、コンテンポラリーで活気に満ちた雰囲気を提供します。

ホテル全体を囲むように、魅力的なコンテンポラリーアートが展示されます。作品は多岐におよび、彫刻、砂岩、陶芸品、大理石、ブロンズなどで、アンドレ・フーの落ち着いたあるデザインコンセプトに完璧にマッチします。ザ・アッパーハウスの名称は、活気あふれる香港の街から上層に向かうジャーニーを象徴するものです。

ザ・アッパーハウスは、最新ホテルグループ「スワイヤー・ホテルズ」が様々な受賞歴に輝く北京のザ・オポジットハウスに次いで、2009年10月にオープン予定です。

スワイヤー・ホテルズについて

スワイヤー・ホテルズは、テイラーメイドなパーソナルサービスで、すべてのトラベラーに個性あふれるホテル滞在を提供するスモールラグジュアリーなホテルを香港、中国本土、イギリスにおいて運営することを目的として発足しました。

2008年オープンのザ・オポジットハウス（北京）に続き、香港のパシフィックプレイスに2009年秋にオープン予定の117室のラグジュアリーホテル、その後広州の中心街天河地区に、90室のラグジュアリーホテルのオープンを予定しています。さらに、スワイヤー・ホテルズは、ライフスタイル・ビジネス・ホテル カテゴリーの「イースト」（345室）を2010年に香港島東部にもオープン予定です。

イギリスでのスワイヤー・ホテルズは2010年より、いくつかの都市にラグジュアリー・ブティックホテルのコレクションを展開してゆく予定です。

パシフィックプレイスについて

パシフィックプレイスは、東京ドーム約10個分の広さを誇る香港で最大級の複合施設で、香港の金融、ビジネスの中心、金鐘（アドミラルティ）に位置し、地下鉄駅にも直結する好ロケーションです。1989年にオープンして以来、香港を代表するプレミアム・ショッピングエリアで、4フロアのショッピングモールは130店を超える有名ブランドショップ、最新ファッションが並ぶブティック、人気のデパートが揃っています。

さらに、3つの5スターホテル、会議場、高級オフィスタワー、ラグジュアリー・サービスアパートメントなども併設する巨大複合施設で、スワイヤー・プロパティが所有、運営しています。

パシフィックプレイス・デザインインブルーメント・プロジェクト

パシフィックプレイス・デザインインブルーメント・プロジェクトは、年々変化するお客さまのニーズに対応するため、常にパシフィックプレイスの向上と改良に取り組んでいます。イギリスの著名な建築家、トーマス・ヘザーウィックが率いるこのプロジェクトのテーマは「新しい思考」で、パシフィックプレイスの外観、内装をトータルに、新しいスタイルとラグジュアリーに進化させるものです。

このプレス・リリースに関するお問い合わせ、資料送付のご希望は、
スワイヤー・ホテルズ（ザ・アッパーハウス）PR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
: 03-3403-5328 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
http://www.kentosnetwork.co.jp